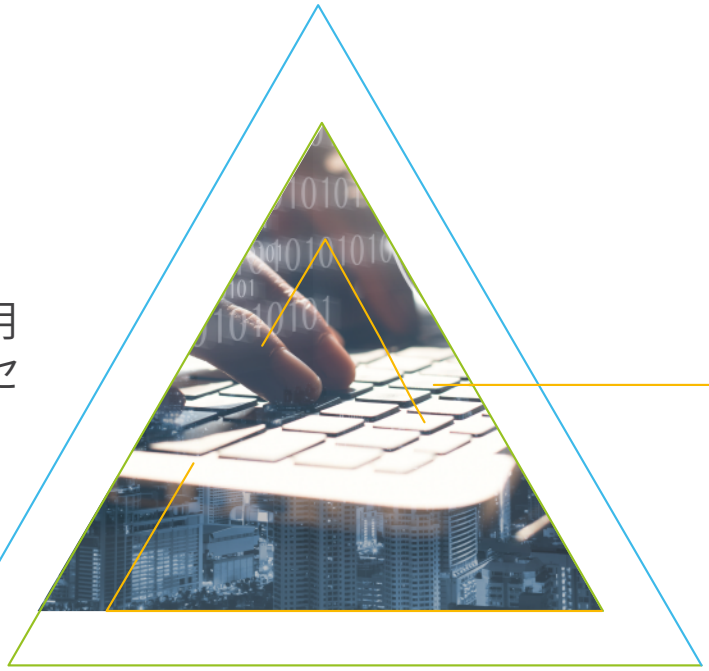
HCL SOFTWARE | BIGFIX

HCL

BigFix Inventory

ソフトウエアコンプライアンスと使用で、ソフトウエア監査準備の維持とセキュリティリスクの移行



BigFix®Inventoryは、ドリルダウン粒度で組織のライセンス化、非ライセンス化ソフトウエアを識別して、ソフトウエアの使用パターンと、Windows、UNIX、Linux、macOSエンドポイントでの動向を追跡することができます。ソリューションは、ライセンス統合やコンプライアンスの目的で、総合ソフトウエア資産インベントリを実行するのに必要な時間を劇的に削減します。BigFix Inventoryは、潜在的なセキュリティリスクを理解するために組織が保有している(と、インストールしているけれども保有していない)ものに貴重な洞察を提供します。もっとすばらしい計画、予算、ベンダーライセンスコンプライアンスをサポートするソフトウエアの使用頻度も識別します。BigFix Inventoryが提供するエンタープライズ資産へのほぼ瞬時の表示は、最適な資産コントロールと運営合理化に欠かせません。

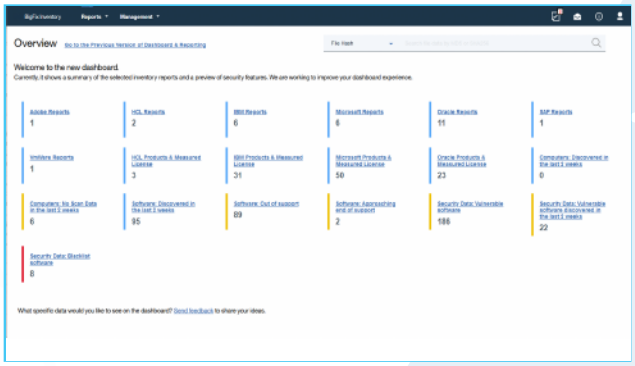
総合端末からの使いやすい、中央管理のBigFixインベントリは、継続的な資産査定とレポートが可能で、低総保有コスト(TCO)と高投資収益率(ROI)を届けます。BigFix Inventoryは、正確に重要なバージョン詳細をレポートするために、最高4桁のバージョン/リリース/アップデートレベル情報を提供しながらアプリケーションを発見します。これらの洞察は、組織がソフトウエアのライセンス化費用に必要以上に費やす費用を著しく減らすことになります。

ハイライト

- もっと監査に合格して、セキュリティ危急を制限し、1年のソフトウエア経費を削減するためにドリルダウン粒度でライセンス化、非ライセンス化ソフトウエアを識別
- 手動インベントリと分液の時間、労力、誤りを削減
- 何百(何十万)ものMicrosoft Windows、UNIX、Linux、MacOSエンドポイントでの資産を管理
- オンプレミスでもクラウドでも、すべてのエンドポイントの目録作成

資産を知り、もっとうまく管理

ソフトウエア資産の理解と管理となると、現在では組織は共通の挑戦に直面しています。何があるでしょう?インストールされて購入したものをどのように調整できますか?適切なユーザーに利用できる適切なアプリケーションがありますか?最高のメリットに向けて導入されたことを確保するためにどのように再分布できますか?全体として、一番有効で総合的な方法で資産を管理していますか?コンプライアンス基準を満たしていますか?ユーザーのエンドポイントにインストールしたすべてのソフトウエアは法的にライセンス化されていますか?

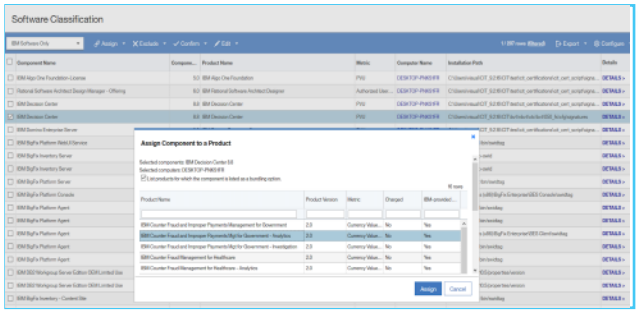


BigFix Inventoryが回答を提供し、最も複雑な環境でも深い資産管理機能を届けます。IBM、Oracle、Microsoft、Adobe、SAP、HP、BMC、CA、Citrix、Corel、Symantec、TIBCO、VMwareなどのソフトウエアベンダーをカバーします。サブキャパシティライセンスがあるIBM製品には、BigFixインベントリはプロセッサー・バリュー・リミット(PVUs)、リソース・バリュー・リミット(RVUs)、各ソフトウエア製品で利用できて消費されるプロセッサーコアも測定します。

BigFix Inventoryは、インフラの見解を提供し、総アプリケーション数、ソフトウエア使用統計、基本のライセンスタイプ遵守のカスタマイズされた見解を可能にします。ソリューションは、ソフトウエアライセンス管理とデスクトップ、パッチ、セキュリティ管理プロセス間の接続の理解を提供することができます。エンドポイントをもっとうまく管理するために必要な焦点を与え、AWS、Azure、VMwareなどの物理、プライベート、共同クラウド環境で、Windows、macOS、UNIX、Linux プラットフォームに対するリアルタイムのエンドポイント状況を調整します。BigFix Inventoryは、DockerとRed Hat Openshiftコンテナで、IBMソフトウエアディスカバリーも提供します。

インテリジェント、エージェントベースの導入からの長所

BigFix Inventoryはスタンドアローン製品で、独立ソリューションとして、またはBigFixファミリーの他のソリューションと一緒に機能を提供します。ソフトウエア識別カタログ(ISO 19770が可能)、カスタム化テンプレートシグネチャ、インストールレジストリ、ベンダー所定のディスカバリーソリューション、ISO SWIDタグ、ハードウエアディスカバリーなどの6種類のさまざまなフォームを利用します。このデータはユーザーがデータと生成レポートを見ることができるインベントリデータウェアハウス作成のために収集されます。



このカタログは、4つのさまざまなソース(IBMソフトウエアのIBM、第三者ベンダーからのWindowsとEnterprise Unixシグネチャ、HCL Softwareディスカバリーチームが作成する追加のシグネチャクラウドベースサービス)を使用して、商用アプリケーションと発行主の情報で、クラウドベースサービスを介して継続的に更新されます。また、スクリプティングやコーディング不要で、カスタム化テンプレートシグネチャ経由で自社製、専用アプリケーションの追跡を入れるためにこの発見プロセスは簡単に拡張されます。BigFix Inventory導入は従来の管理ソリューションから重要な(かつメリットのある)変更です。

別のソリューションはエンドポイントエージェントを利用し、中央コマンド & コントロールサーバーからの指示に頼って、インベントリデータを獲得するために長いスキャンを必要とします。BigFix Inventoryエージェント自体がレポート速度を大幅に上げる査定とレポートに必要な計算能力を提供します。全部同時にエンドポイントをスキャンする替わりに、BigFix Inventoryエージェントは変更を監視し、必要に応じてサーバーに更新を送信して、帯域幅とエンドポイントCPUボトルネックを避けて効率を高めます。

洞察とコスト節約のためのドリルダウン

BigFix Inventoryは、2つの重要なソフトウエア資産管理機能を有効にします — 「いつもオン」ソフトウエアインベントリと解析、そしてソフトウエア資産とライセンス管理です。「いつもオン」機能は、ソフトウエア資産情報にドリルダウンする更新されたインベントリを継続的に提供し、潜在的に何千ものコンピュータープロパティでデータを検索、フィルター、分類、表示、エクスポートすることで収集された集計統計と使用方法を用意します。継続的に更新されるインベントリを通じて発見されたソフトウエアを使用して、ソフトウエア資産管理を実施し、一方でソフトウエアライセンス管理は、利用できるライセンス数と発見されたソフトウエアを比較します。自動化の合理的な操作によって、IT組織はインベントリ活動に費やす時間と労力を劇的に減らします。

BigFix Inventoryは重要な機能を多数提供:

- **素早いインストールと実施**- BigFixインベントリは、速度のためにデザインされた強固なプラットフォームで、企業全体でのインストールにわずか数時間しかかかりません。対して、他のソリューションでは導入に数か月、それ以上かかることがよくあります。インストールが完了すると、「いつもオン」インベントリがほぼリアルタイムでソフトウエア状況と変更を捉えて、総保有コスト(TCO)削減を評価する時間を押し上げます。既存のBigFixユーザーは追加のエンドポイントソフトウエアやハードウエアを必要とすることなく、素早くインベントリ機能を追加することができます。

- **柔軟で、効率の良いデザイン**- 何十万ものエンドポイントに対処する能力を備えたBigFix Inventoryは、何十もの専用バックエンドサーバーが必要な従来の資産管理方法と比較すると、管理を簡易化して、ハードウエアと人件費を削減します。

- **どの資産にも描出** – BigFix Inventoryは、企業ネットワークでもインターネット経由でも接続状況に関係なく、異種環境のさまざまなネットワークトポロジーを通じてどのエンドポイントでも可視性を増やすことができます。ソフトウエア発見と使用監視は、すべてのUNIXオペレーティングシステムを含む、BigFixによってサポートされるすべてのプラットフォームで使用可能になり、プロセスの発見、ファイルシステム、ハードウエア、使用方法を提供します。BigFixインベントリのひとつのコンポネントは、Common Inventory Technology scannerで、エンドポイントからデータを収集して、ファイル名だけの検索で識別できないものも含めたすべてのシグネチャタイプを発見するためにも使用することができます。さらに、拡張された使用データモニタリングは、シグネチャの重複を防いでソフトウエアの権利を確認するのに役立ちます。持続的なインベントリと可視性によって、ソフトウエア記録が常に最新、正確、安全であることを保証します。

- **迅速な合理化されたカタログ管理** – ビルトインカタログ機能は、ユーザーが発行主、製品、リリースベースにソフトウエア資産コンテンツを構成して、パッケージやファイルデータレベルにドリルダウンできるようにします。このビルトインビューのほか、「コンテキストでの起動」機能は、ユーザーがすばやいシグネチャ作成のためにスキャンとレジストリレポートを活用することができるようにします。それから、構成可能なカタログをネイティブフォーマットにエクスポートして、最初のインポート前に新しいソフトウエア使用分析インストールにアップロードすることができます。

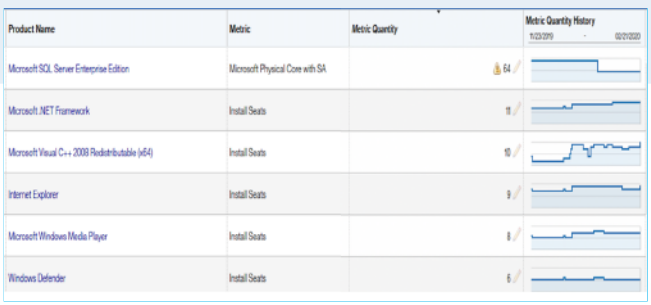
- **継続的な分析とレポート**- 資産管理は継続的に行うので、管理者と財務アナリストは必要な時に必要なレポートを生成することができます。リアルタイムのレポートは、環境規模に関係なく、数分でソフトウエア資産の健全性とコンプライアンスの情報を届けることができます。IT運営マネージャーだけではなく、企業のさまざまな役職や個人にコンピューターグループベースのアクセスのレポートが可能です。

- **他のソリューションとの統合**-管理能力を拡張するために、BigFix Inventoryは調達と連絡先管理などの機能を提供するIBMコントロールデスクなどのその他資産管理提供物と統合します。結合したプラットフォームは、調達から撤退までの全ソフトウエアのライフサイクルを通じて管理を届け、ソフトウエアの要求、承諾、導入、ライセンス化シグネチャの管理を合理化する自動化の、セルフサービスの企業アプリケーションストアを有効にして、ソフトウエアの権利を確認します。持続的なインベントリと可視性によって、ソフトウエア記録が常に最新、正確、安全であることを保証します。

BigFix Inventoryは多数の重要な機能を提供：

- **ライセンスの調整とペナルティ回避**- BigFix Inventoryを使用すると、組織はソフトウエアライセンスの消費と使用に可視性を増やすことができ、一方でソフトウエアライセンスのコンプライアンスと使用方法を表示するレポートを手動で生成するのに必要な時間と労力を削減します。BigFix Inventoryは、ソフトウエアインベントリレポートの限度の超えた展開や速度準備のために、組織がベンダーに課されるソフトウエアコンプライアンスの罰金やペナルティの危急を減らすのに役立ちます。

- **IT 予算計画**- 財務アナリストは、環境規模に関係なく必要な時に必要なレポートを数分で生成できます。コンピューターグループベースのアクセスのレポートは、IT運営マネージャーだけではなく、企業のさまざまな役職や個人にコンピューターグループベースのアクセスのレポートが可能です。すべてのメトリクスレポートは、財務アナリストが経時的にライセンス使用を確認するのに役立つ現在の使用数と数量履歴を表示します。



- **移行計画** - 移行計画はBigFix Inventoryを使って簡易化することができます。例えば、Microsoft Officeの以前のバージョンから最新バージョンに移行している組織は、どのエンドポイントが必要条件を満たしているのか、どれがハードウエアの更新が必要なのかをBigFix管理者がすばやく測定できるようにします。その結果、BigFix Inventoryは、移行プランナーが移行の正確な費用を含めて、精密な実施計画を開発する手助けをすることができます。

- セキュリティリスクの移行 - 多くの組織がネットワーク上で無許可のソフトウエアインストールやこれによってどんなリスクにさらされるのかということを理解していません。BigFixインベントリは、ITとセキュリティ組織が協働して、無許可のソフトウエアの監視やセキュリティの脅威を引き起こすソフトウエアの削除によって、企業を守ります。

BigFix Family

BigFix Familyに他のモジュールを入れるためにBigFix Complianceに投資を拡大することで、さらにツールを統合、エンドポイントエージェント数減少、管理費用削減が可能となります。すべての機能が同じ端末、管理サーバー、エンドポイントエージェントから操作するので、もっとサービスを追加することは、ライセンスキーの変更という簡単なことだけです。BigFix Familyに含まれるもの：

- **BigFix Lifecycle**— BigFix Lifecycleを使うと、ITとセキュリティ運営チームは数時間、数分以内に数十万のエンドポイントを 素早く発見、保護、管理することができます。中心の「必須の」エンドポイント管理機能を届けます。Lifecycleは自動の簡易化されたパッチプロセスを提供して、企業ネットワーク上と中にあるWindows、UNIX、Linux、macOS、AWS、Azure、VMwareインスタンスで98%のファーストパスパッチ成功率を達しています。 BigFix ライフサイクルには、OS プロビジョニング、ソフトウエア導入、リモートコントロール、タスクシーケンス自動化、PC & Mac パワー管理も含まれます。

- **BigFix Compliance** — BigFix Complianceは、CIS、DISA STIG、USGCB、PCI-DSSが公表している業界基準のセキュリティベンチマークと提携して、革新的な何千ものセキュリティチェックで継続的にエンドポイント構成コンプライアンスを実施します。Complianceは自動の簡易化されたパッチプロセスを提供して、企業ネットワーク上と中にあるWindows、UNIX、Linux、macOS、AWS、Azure、VMwareインスタンスで98%のファーストパスパッチ成功率を達しています。 BigFix コンプライアンスは、高度脆弱性状態レポートと修復優先度を届けます。

- **BigFix Insights**—BigFix 10で新機能のBigFix Insightsを使うと、チームは役員に組織の脅威状態をすばやく報告して、次のステップを推進するために高度分析を行うことができます。この新しい提供物は、パワフルなエンドポイントデータレイクと、従来のオンプレミス、クラウド、MDM API 管理ポイントでの一層深いデータ洞察のために統合プラットフォームを提供します。洞察には、ビジネスインテリジェンス(BI)レポートツールを活用して、革新的、カスタマイズ可能なレポートを提供します。

- **BigFix Modern Client Management** - BigFix 10の新機能で、モバイルデバイス管理アプリケーションプログラミングインターフェース(MDM API)アプローチを活用することで、BigFix がインストールされていない Windows 10とMacOSを管理することができます。Modern Client Managementはひとつのツールを使って、現在と従来のエンドポイントの両方を管理する能力を提供します。BigFix 10の機能には、エンドユーザー初期登録、リモートワイプなどの多数のMDM アクションが含まれます。

BigFixを使用する理由は？

BigFixは独自の非常にスケーラブルなインフラに構築されていて、エンドポイントから意思決定を分布します。これは、ソリューション全体ですばらしい機能とパフォーマンスのメリットを提供すると同時に、エンドポイント費用とインフラの複雑性を減らします。BigFixの機能：

- **単一のインテリジェントエージェント**— BigFix エージェントは、システムパフォーマンスにおいて最低限の影響で、継続的な自己査定とポリシー実施などの複数の機能を実行します。BigFixエージェントは、集中管理サーバーに上流にメッセージを送信して、パッチ、設定、その他の情報を引き出して、リアルタイムでエンドポイントへとインテリジェントな方法で行動を始めます。BigFixエージェントはMicrosoft Windows、Linux、UNIX、MacOSの90以上のオペレーティングシステムで作動します。

- **BigFix Fixlets™**- BigFix Fixletsは自動化の小さなユニットです。ITチームが毎日の操作を簡易化して、もっと複雑な操作に集中できるようにします。BigFix は、革新的な500,000以上のFixletsを提供します。BigFixチームは継続的にFixletライブラリを更新していて、1か月で130以上のコンテンツが更新されています。BigFixユーザー、事業パートナー、開発者はFixletsを活用して、BigFixによって管理されているエンドポイントのカスタムポリシーとサービスを作成 することができます。Fixletsのコミュニティライブラリは BigFix.meで利用できます。

- **非常にスケーラブルなアーキテクチャ**—単一のBigFix管理サーバーで、プライベートまたは公共ネットワークで最高250,000の物理、仮想コンピューターを管理することができます。管理されたエンドポイントには、サーバー、デスクトップ、ローミングラップトップ、販売時点管理(POS)デバイス、ATM、セルフサービスのキオスクなどの専門デバイスが含まれます。

- **マルチクラウドサポート**— BigFix 10を使うと、単一のユーザーインターフェースで、従来のエンドポイントと一緒にクラウドエンドポイントを簡単に発見して見ることができます。自分が保有しているものを知ることは重要な部分で、BigFix 10を使うと、さらに一歩進んで、完全な視覚性、コントロール、これらのエンドポイントのセキュリティのためにBigFixエージェントを導入することができます。これによって、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、VMWareなどの複数のクラウド環境で同時に作動しているエンドポイントの管理が可能となります。

詳しい情報について

BigFixについてもっと知りたい場合には、HCL Software代理店かHCL事業パートナーにお問合せ、またはwww.BigFix.com.をご訪問ください。

HCL Softwareのご案内

HCL Softwareは、HCL Technologiesの部門です。フレックスな消費モデル、真新しい従来のオンプレミスソフトウエア、サービスとしてのソフトウエア(SaaS)、一括管理サービスを備えた法人等級のソフトウエアベース提供物の次世代ポートフォリオを開発して届けています。速度、洞察、革新（大なり小なり）をもたらして、お客様に価値を作り出します。HCL Softwareの分野にはDevOps、セキュリティ、自動化、アプリケーション最新化、データおよび統合インフラや、複数のビジネスアプリケーションが含まれます。HCLは、メインフレームからクラウド、その間のすべてに及ぶ実世界のマルチモードITの複雑性を取り入れると同時に、お客様の成功と「契約を超える関係」構築に力を注いでいます。

© Copyright 2020 HCL

HCL Corporation Pvt. Ltd. Corporate Towers,
HCL Technology Hub, Plot No 3A, Sector 126, Noida - 201303. UP (India)

米国で制作。

すべての製品名、商標、登録商標は、それぞれの保有者の資産です。